

## 就職

## ◎企業数



※総務省・経済産業省「令和3年経済センサス」2021年6月時点

## ◎初任給（千円）



※令和6年度賃金構造基本統計調査



## ◎通勤時間



※令和3年社会生活基本調査結果



## ◎平日における平均帰宅時間



※令和3年社会生活基本調査結果



## MEMO :

東京の企業数は鹿児島の約9.2倍！東京では自分の興味のある企業を見つけやすく、鹿児島では企業数が少ないため、業種によっては就職活動は苦労するかもしれません。初任給は高卒で約1.5万円高く、大卒では約2万円高くなっています。通勤時間は鹿児島が約32分短く、また、移動手段は鹿児島は多くが自家用車、東京は電車（しかも満員）であると考えると、時間以上に大変でしょう。平均帰宅時間は鹿児島の方が1時間19分早く、プライベートの時間を多く持てそうです。

## 家計

## ◎家賃



※令和5年住宅・土地統計調査



## ◎1か月間の実収入（2人以上の勤労世帯）



※総務省統計局家計調査年報 2024年



## ◎1か月間の実支出（2人以上の勤労世帯）



※総務省統計局家計調査年報 2024年



## MEMO :

家賃は東京の方が約2.1倍高いようです。家賃のような固定費が高ほど生活が苦しくなるため、部屋選びは慎重にする必要がありそうです。2人以上の勤労世帯の1か月の実収入と実支出を比べてみると、東京は収入も多いですが、支出も多くなっています。仕事とプライベートのバランスを考えてみるのも大切です。

## 東京と鹿児島の生活を「見える化」

## 結婚・出産・子育て

## ◎未婚率

東京都  
男 **32.15%**  
女 **23.79%**

鹿児島県  
男 **24.98%**  
女 **18.58%**

※国立社会保障・人口問題研究所／人口統計資料集（2023 改訂版）

## ◎合計特殊出生率

東京都  
**0.96**

鹿児島県  
**1.38**

※令和6年人口動態調査

## ◎出産費用（正常分娩の場合の平均）

東京都  
**625,372円**

鹿児島県  
**438,316円**

※令和5年度厚生労働省保険局

## ◎1か月間の教育費（2人以上の勤労世帯）

東京都（区部）  
**28,763円**

鹿児島市  
**15,302円**

※総務省統計局家計調査年報 2024年

## MEMO :

未婚率は男女とも東京の方が高く、合計特殊出生率は東京が 0.96 人、鹿児島が 1.38 人となっています。  
出産費用を見てみると、東京は鹿児島に比べ、約 1.5 倍高く、2人以上の勤労世帯の1か月間の教育費にいたっては約 1.9 倍となっています。  
子育てや教育にかかる費用の負担や親族によるサポート等を考えると、鹿児島は東京と比べて、結婚・出産・子育てがしやすい環境と言えそうです。

## 生 活

## ◎病院数（人口10万人当たり）

東京都  
**4.5** 施設

鹿児島県  
**14.9** 施設

※令和6年医療施設調査

## ◎治安（人口千人当たり）

東京都

- ・刑法犯認知件数  
**4.0** 件（全国7位）
- ・窃盗犯認知件数  
**2.5** 件（全国9位）

鹿児島県

- ・刑法犯認知件数  
**3.0** 件（全国23位）
- ・窃盗犯認知件数  
**1.7** 件（全国32位）

※令和6年犯罪統計より算出

## ◎自家用乗用車の普及台数（1世帯当たり）

東京都

**0.405** 台

鹿児島県

**1.183** 台

※一般財団法人自動車検査登録情報協会調べ 令和7年3月時点

## MEMO :

病院数は人口10万人当たり、東京の4.5施設に対し、鹿児島は14.9施設と全国でも多い病院数です。また、治安は人口千人当たりの刑法犯認知件数、窃盗犯認知件数ともに東京が全国の上位である一方、鹿児島は全国でも下位であり、安心して暮らせる環境であることがわかります。  
自家用乗用車の普及台数を1世帯当たりで比べると、東京が0.405台、鹿児島は1.183台となっており、鹿児島で暮らすには各家庭に1台は車が必要となるようです。